

※よく読んで申告漏れのないようにしてください

令和5年（2023年）分 給与所得者の扶養控除等（異動）申告書について

「令和5年（2023年）分 給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」について

※注意点※

本人及び扶養親族の個人番号（マイナンバー）は記入しないでください

以下の手順で申告してください

① 記載内容の確認

- ・本人及び扶養親族等の氏名、生年月日、住所又は居所等を正しく記入してください。

☆扶養親族を記入する際の注意点☆

- ・記載できる扶養親族は所得額が48万円以下の親族のみです。

扶養手当をもらっていても、所得税上は扶養親族になれない場合があります（扶養手当と所得税上の扶養とで、扶養親族になれる条件（所得の上限）に違いがあるため）。

所得額の計算方法は以下のとおり。（計算結果がマイナスになった場合は0とする）

◆給与所得者の場合

年間総支給額 － 55万円

◆公的年金受給者の場合

→65歳以上の方（2021年分の場合 S32.1.1 以前生）

年間支給額 － 110万円

→65歳未満の方（2021年分の場合 S32.1.2 以後生）

年間支給額 － 60万円

※公的年金を受給している場合は所得見積額欄に公的年金とご記入下さい（記載例参照）

※公的年金以外の年金については上記の方法では計算できませんのでご相談下さい

上記計算後、48万円を超えている場合は、所得税上の扶養親族とすることはできませんのでご注意ください。給与・年金以外の収入がある方については別途ご相談下さい。

☆C欄（障害者又は勤労学生の内容）を記入する際の注意点☆

- ・障害者又勤労学生に該当する（人がいる）場合、「障害者又は勤労学生の内容」欄にその該当する事実やその人の氏名等を記入する必要があります。（記載例参照）

◆障害者の場合

障害者の氏名、障害の程度、手帳の種類、交付年月日

（注）寡婦、ひとり親に該当する方について、死別、離婚、生死不明の別、生計を一にする子の氏名及びその子の所得の見積額など、寡婦又はひとり親に該当する事実の記載は必要ありません。

② 氏名欄横に押印、世帯主、続柄を記入

- ・世帯主欄は、借家等で一人暮らしをしている場合は、ご自身のお名前を記入して下さい。

③ 再確認して提出